

令和4年第1回東海村議会定例会行政報告等要旨

令和4年3月1日

令和4年第1回東海村議会定例会の開会に当たり、行政報告等を申し述べさせていただきます。

はじめに、「新型コロナウイルスワクチンの接種」についてでございます。

本村のワクチン接種状況ですが、1・2回目接種については、村内医療機関をはじめ住民の皆様のご協力により、いずれも90%を超える高い接種率となっております。

また、3回目接種については、2回目接種完了から原則8か月以上経過した、満18歳以上の方を対象として、令和3年12月1日から令和4年9月30日までの期間で実施することとされており、本村においては、昨年12月8日の医療従事者への接種を皮切りに開始しております。

現在、新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」の感染が急拡大しておりますので、村としましては、国や県の通知に基づき、3回目接種の前倒しに取り組んでいるところであります。3回目接種では交接種が認められており、1・2回目接種で接種したワクチンの種類にかかわらず、ファイザー社製と武田/モデルナ社製のいずれかを接種することが可能となっておりますので、村から接種券が届きましたら、速やかに接種していただくよう、周知に努めているところであります。

更に、5歳から11歳までの小児の接種につきましては、3月中の接種開始に向けて、準備を進めているところであります。ワクチン接種につきましては、引き続き接種体制の確保に努め、適切に対応してまいります。

次に、「第15回ほしいも品評会」についてでございます。

このイベントは、日本一のほしいも生産地「ひたちなか・東海・那珂」地域のさらなる知名度アップや独自性・優位性を高めるとともに、ほしいもの品質や生産者の技術の向上を目的に、当該地域2市1村等で構成する「ほしいも協議会」が主催しているもので、去る1月13日に「ひたちなか市役所」、1月14日に「イバラキセス」を会場として開催されました。

品評会には、当協議会で認定する三ツ星生産者から、68品のエントリーがあり、事前申込制の総勢120名の審査員により、味・食感・見た目の3つの項目で審査が行われました。

審査の結果、本村からは、「べにはるか部」で『根本干しいも農園』が金賞、『株式会社フィールド・ライフ』が銀賞、「たまゆたか部」で『根本干しいも農園』と『萩谷農園』が銅賞、「希少品種部」で『株式会社テルズ』が金賞を受賞し、本村産の「ほしいも」のおいしさと品質の良さが、評価されたと感じているところです。

今後も村の主要な特産品である「ほしいも」について、一大産地としてあり続けるために、生産者との連携を図りながら「東海村産ほしいもブランド」を作り上げ、周知活動等にも積極的に取り組んでまいります。

それでは、行政報告の案件を申し上げます。

報告第1号から報告第6号の寄附の受入れにつきましては、
報告第1号は、株式会社はやぶさ 代表取締役 ^{ひらいで きみひこ}平出 公彦 氏
から、新型コロナウイルス感染症対策のため、除菌液 はやぶさ
パワーミスト(250mlペットボトル)100本の寄附の申出が、報告第2
号は、イオン東海店同友店会 会長 ^{かしむら あきら}櫛村 彰 氏から、新型コロ
ナウイルス感染症対策のため、5万円の寄附の申出が、報告第3号
は、舟石川学童クラブ保護者会 会長 ^{あだち りえこ}足立 利恵子 氏から、舟
石川学童クラブの学童保育に貢献するため、ウッドデッキ 9㎡の
寄附の申出が、報告第4号は、^{てるぬま あきら}照沼 明 氏から、郷土教育への
活用のため、^{かいゆうとう きちようけい つぼ}灰釉陶器長脛壺 1点の寄附の申出が、報告第5号
は、^{にしの しんや}西野 晋也 氏から、郷土教育への活用のため、古文書、民具
等 一式の寄附の申出が、報告第6号は、水戸ヤクルト販売株式会
社 代表取締役社長 ^{ないとう まなぶ}内藤 学 氏から、地域の福祉に貢献する
ため、アルミスタンド付8インチサーマルカメラ、液晶テレビ 各1点
の寄附の申出があり、これらを受け入れましたので、議会に報告す
るものでございます。

以上で行政報告といたします。